

週間感染症情報

2020年17-19週 2020年4月20日より2020年5月10日まで

17週 18週 19週

麻疹			
風疹			
水痘(みずぼうそう)			
ムンプス(おたふくかぜ)			
百日咳			
溶連菌感染症	1	7	7
手足口病			
ヘルパンギーナ			
伝染性紅斑			
感染性胃腸炎	12	6	5
ロタウイルス(再掲)			
便アデノウイルス(再掲)	2		
突発性発疹	1	3	3
伝染性膿痂疹(とびひ)	3	2	1
ヘルペス性口内炎			
アデノウイルス感染症	1		
RSウイルス感染症			
マイコプラズマ感染症			
ヒトメタニューモウイルス			
インフルエンザ(臨床診断含む)			
インフルエンザA			
インフルエンザB			

遅くなりましたが、17-19週の報告です。連休もありましたが、小児の感染症の報告数はさらに減少しています。14-19週の6週間の合計報告数は162例(2019年は501例あり)で昨年の32%でした。最近になり、成人の発熱症例も減少しています。岡山県では緊急事態宣言が解除されましたが、もうコロナ前の生活に戻ることはいけません。新型コロナウイルス感染症は、今の時点で治療法もワクチンもなく、しばらくは共存して付き合っていくてはならない病気です。感染予防のためには、三密をさけて、換気に注意し、マスクの着用・手洗いに努めましょう。新型コロナウイルス感染症とかぜは初期は区別が付きません。**PCR検査で陰性であってもコロナでないという証明はできません。発熱・風邪症状など体調不良の場合は、他人にうつさないためにも、無理をせずゆっくり休むことが一番大切です。そのように考え方を変えていく必要があります。**

右は主要感染症の報告数です。

いずれも有効なワクチンがあり、接種率の上昇により報告数が減少しています。

ワクチンのない時代 昭和9年(1934年)2月
(内務省衛生局編集より)

麻疹 5歳までの死亡数 10372人

百日咳 5歳までの死亡数 11161人

ともに1万人以上の乳幼児が亡くなっています。

ワクチンで予防できる病気(VPD)は

ワクチンで予防しましょう。

(感染情報については当院のホームページでもご覧になれます。 <http://miyakenaika.com>)

総社市内での主要感染症の報告数

年度	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019
麻疹	0	0	0	5	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
風疹	1	0	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
水痘	238	477	282	348	242	323	241	331	242	167	115	60	75	60	98
ムンプス	184	548	45	42	127	193	372	151	28	30	62	99	37	6	3

麻疹・風疹の報告は2010年度以後ありません。
水痘・ムンプスも2013年度より著明に減少しています。
ワクチン接種率が上昇したからです。2018年度の水痘ワクチン1回接種率は92%、ムンプスワクチン1回接種率は87%でした。